

対象年度	令和 5年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	地域未来塾運営事業						予算事業名	地域未来塾運営事業費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			10	05	03	22	経常経費							
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 安心して学べる学校づくりの推進						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	生涯学習課 生涯学習係						
事業期間	継続 (平成29年度～ 年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】	中学生の学習習慣の確立や基礎学力の向上を図るとともに、地域住民が学習支援を行うことにより、地域の教育力の向上と活性化を図る。						【事業開始のきっかけや他市の状況など】	子どもの貧困対策に関する大綱 (平成26年8月29日閣議決定) に地域による学習支援が示されたことがきっかけであるが、本市では貧困対策にとらわれず、全中学生を対象に開始した。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を学習支援員 (元教員、学習塾講師等) として協力を得ながら、市内中学校に通学する中学生を対象とした学習支援を行う。 ・市役所を会場とし、学習支援員を配置する。各教室の連絡調整役として地域コーディネーター1人を配置する。 ・運営委員会の設置。委員11人。年2回開催。事業計画、安全管理、広報、ボランティア等人材確保、事業の検証・評価を行う。 						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】	市内中学生						
						【事業をとりまく環境の変化】	近年、子供を取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子供たちが健やかに育つためには、学校・家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要がある。							
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域未来塾の開催 授業形式により、中1、中2、中3コースを開設 ・運営委員会の開催 (年2回) 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域未来塾の開催 授業形式により、中1、中2、中3コースを開設 ・運営委員会の開催 (年2回) 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域未来塾の開催 授業形式により、中1、中2、中3コースを開設 ・運営委員会の開催 (年2回) 						

■事業費

		R03年度	R04年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	213	889			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	164	566			
歳入計 (千円)		377	1,455			
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	07 報償費	285	1,292			
	10 需用費	16	17			
	11 役員費	76	146			
歳出計 (千円) (A)		377	1,455			
伸び率 (%)			285.94			
備 考						

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	開催回数	回	目標	108.00	75.00	75.00
	数学中1・中2・中3コース、自主学習コース（令和3年度のみ）の延べ開催数		実績	45.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	出席受講生数	人	目標	500.00	3,000.00	3,500.00
	数学中1・中2・中3コース、自主学習コース（令和3年度のみ）の延べ受講者数		実績	576.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	生徒が定期的に未来塾に参加することで、学習習慣の定着及び学力の向上につながる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	民間と連携をとりながら実施している。
	手段の妥当性	A 妥当である	令和3年度から、自主学習コースに加えて、数学コースを開設したことにより、受講生の出席率が大幅に向上した。また、会場は各中学校を使用せず、市役所と公民館で開催したことにより、中学校の負担が軽減された。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	各会場に学習支援員1名を配置しており、数学コースは受講生の出席率は約75%であるが、自学コースの出席率は約34%と低いため、改善の余地がある。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	市内中学校に通学する中学生全員が対象となっているが、「会場が遠方にある」「土曜日の午後は部活動がある」などの理由で参加できない生徒もいる。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	参加した生徒は、学習習慣が確立されるなどの成果が見られるが、運営委員会で反省点・改善点を検証し、さらなる成果向上を目指した活動を展開していく。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	学習支援員や事務局が、情報交換及び連携により計画的に進めているが、より多くの生徒が関心を持って参加できるよう、新たな企画を検討することも必要。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
参加した生徒は、熱心に学習に取り組んでおり、学習習慣の確立及び基礎学力の定着を図ることが出来た。ただし、自主学習コースは、9月以降、極端に出席率が低下することが、継続的な課題である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和3年度に開設した数学コースは、受講生にも好評であるため、今後、他の教科での実施も検討していくが、その場合、自主学習コースについては、廃止も検討する。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 授業形式の実施は好評であるため、数学以外の教科についても、中学生の学力の分析などを踏まえて実施を検討していく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。</p>